



常任委員会レポート

令和7年度一般・特別・企業会計の予算をはじめ、令和6年度一般・特別・企業会計の補正予算や条例の制定などの議案を、各常任委員会で審査しました。ここでは、その一部を紹介します。

総務委員会

令和7年度 袋井市一般会計予算 （防災費）

問 一昨年は関東大震災から100年、昨年は七夕豪雨から50年、今年は市政施行20周年を迎える。本市防災にとって、先人の経験を今の人たちに振り返っていただくいい機会になると思うがどうか。

答 現在、国は南海トラフ巨大地震の新たな被害想定を本年3月に公表する予定で進めている。県もそれを受けて進めており、本市も対応していく。関東大震災における火災、阪神淡路大震災における住宅や公共施設の耐震化、東日本大震災における津波、能登半島地震における避難所の環境改善など、これまでの災害の教訓を市民に伝え、防災対策を進めていきたい。令和7年度は広域受援計画の策定も予定しており、本市の災害対策が向上するよう取り組んでいきたい。



袋井駅南自転車等駐車場

令和7年度袋井市 駐車場事業特別会計予算

問 最近、駅南循環線が袋井南コミュニティセンター付近までつながった。駐輪場は、高校生の利用が多い中で、人の流れがかなり変わって来ると思われる。経営戦略の折り返しを迎える中、人の流れや利用状況の調査をやる必要があると思うがどうか。

答 これまでの高校生が通学に利用しているルートを考慮すると、流れが大きく変わることはないと考えているが、実際に現地調査をし、利用者の動態を把握したい。

民生文教委員会

令和7年度 袋井市一般会計予算 （教育費雑入）

問 来年度の給食費保護者負担について、物価上昇の想定に基づき、値上げをすることであるが、値上げの基準が未だ定まってない。何%物価が上昇したら価格を変更していくなどの基準を作る必要があると考えるが、どのように考えているのか。

答 給食費の算定に当たっては、個々の食材ごとに来年度の物価の値上がり予測を行い、積算したものが来年度の給食費となっている。基準の設定については、今後、庁内で議論をしていきたいと考えているが、給食費の金額は、学校給食運営協議会の意見を聞いて教育委員会が定めるという規定があるため、事務局として値上げを前提とした基準を事前に設定しておくことは、現状、困難であるという状況は理解いただきたい。



給食の様子

令和7年度 袋井市一般会計予算 （予防費）

問 带状疱疹予防接種委託料（定期接種）に関して、410件分の予算措置を新たにされているが、生ワクチンと不活化ワクチンの配分はどのようになっているか。

答 生ワクチンについては定期接種の対象者5000人については約7%を見込んで予算計上している。

令和7年度 袋井市国民健康保険 特別会計

問 国保被保険者は国保税の負担が大きい。基金残高状況を見ながら、他の自治体で取り入れているところもある未就学児の均等割額の軽減を18歳まで拡大するといったことはあるか。

答 平成30年度以降、静岡県が主体になって財政運営を行っている中で、今後、国保運営を統一していくという方針であり、本市だけ特別に基金があるからといって、子供の均等割額の軽減において、特段の助成制度を設けるということとは、今後の国保財政の運営を考えると困難であると認識している。